

## 報告 1 「女性史編さん講座」広報活動

より多くの方々に講座開催を知っていただき  
興味をもってご参加いただけるよう  
さまざまなPRを行った。

### **1 チラシ 1,200 枚、配布及び郵送……生活文化課男女平等推進係職員の協力も得て**

公共施設はもとより不特定多数の市民に PR、また関心ある人への呼びかけなど（添付①）

### **2 ポスター 80 枚、掲示……生活文化課男女平等推進係職員の協力も得て**

市内公共掲示板、スーパーなどに掲示

### **3 西東京市ホームページに掲載……企画政策課職員の協力も得て**

- ① トップページ→地域活動情報ステーション
- ② トップページ→イベント情報

### **4 「西東京市報」2009 年 5 月 15 日号……企画政策課職員の協力も得て**

### **5 新聞各社や地域紙に掲載依頼：結果、掲載紙は以下のとおり**

- ① 『読売新聞』武蔵野版、2009 年 5 月 14 日付 （添付②）
- ② 『タウン通信』2009 年 5 月 20 日号 （添付③）
- ③ 『アサヒタウンズ』2009 年 5 月 21 日号 （添付④）
- ④ 『読売新聞』多摩版、2009 年 5 月 21 日付 （添付⑤）

### **6 生活企画ジェフリー「ジェフリー通信」にて女性史編さんの意義や効果情報を提供**

- ① 「ジェフリー通信」No12、2008 年夏号、2008 年 8 月 （添付⑥）
- ② 「ジェフリー通信」No13、2009 年新春号、2009 年 1 月 （添付⑦）
- ③ 「ジェフリー通信」No14、2009 年春号、2009 年 4 月 （添付⑧）

### **7 会員・関係者など、あらゆる機会に講座のPRを行った**

- ① 第 8 回消費生活展（2008 年 10 月）：女性史関連内容でパネル展示、女性史編さんの重要性を PR
- ② 第 1 回パリテまつり（2009 年 2 月）：講座開催予告、チラシ配布
- ③ 西東京市男女平等推進センターパリテにおいてポスター・チラシ掲示、加えて、オープンスペースにて講座案内大判ポスター掲示（2009 年 5 月～）
- ④ ひばりが丘公民館・柳沢公民館講座等でチラシ配布
- ⑤ 当法人会員及び関係者や過去の講座参加者等にチラシ送付、参加のお誘い
- ⑥ 情報収集のため行った懇談会に参加してくださった団体関係者・個人にも講座のお誘い

## 報告 2 「女性史編さん講座」第 1 回 ——地域女性史編さんの意味と効果——

開催日時：2009（平成 21）年 6 月 13 日（土）  
午後 1 時 30 分～3 時 30 分  
開催場所：西東京市イングビル 第 3・4 会議室  
講 師：折井美耶子（女性史研究家）  
受講人数：27 人  
配布資料：レジュメ、年表（当法人作成）  
司会進行：渡辺美恵



### ■講座の趣旨

地域女性史編さんの意味や効果を学び、女性史編さんの重要性・必要性を認識する（総論学習）。

### ■講座の内容（要約）

#### ①歴史と女性

- ・歴史とは現在と過去との対話である（E.H.カー）。現在を知り、未来を考えるために過去を学ぶ。
- ・従来の歴史には女性が欠落している。女性史とは女性の実態を明らかにすると同時に女性差別撤廃の方向を探るものでもある。人類の歴史の中で女性が担ってきた生活分野を明らかにすることは大事。

#### ②女性史研究の歩み

- ・歴史学として女性の歴史研究は、高群逸枝『母系制の研究』や井上清『日本女性史』などから始まった。1970 年代に入って盛んになる。

#### ③地域女性史とは

- ・生活の場としての地域とそこに生きる女性の歴史である。語り伝えること。
- ・地域女性史研究の初期、書き手の多くは男性または個人で、その後地域のサークルが編さんするようになった。
- ・1980 年代後半～90 年代にかけ、国連や日本政府の動きのなかで、自治体は女性政策の一環として地域女性史を刊行していった。ここに市民と女性史専門家との協力が生まれた。
- ・しかし、21 世紀に入り自治体の財政難とジェンダー・バックラッシュが重なり、順風に推移してきた地域女性史に陰りがみえてきた。資金面での苦労は絶えず自主的編さんは難しくなった。

#### ④地域女性史を学び、綴る意味

- ・編さんに関わるすべての人の自己学習・生涯学習につながると同時に、歴史の担い手であることの自覚がもてる。
- ・自分が生活していくエリア（西東京市）の文化も含め、そこで差別されたり、抑圧されたりせず、人間らしく生きていける地域社会の構築に役立つ。

#### ⑤地域女性史編さんの効果

- ・行政主導でなく、西東京市のような NPO 法人主催の編さんは珍しい。楽しみである。
- ・誰もが時代の中に生きてきたことがみえてくる。
- ・自分の生き方を考え、次世代につなげることができる。
- ・この地域で安心して暮らしていくために、私たちはどうしていったらよいか、ヒントをみる。
- ・歴史は偉い人だけのものではなく、私たち一般市民（女性）が底支えしてきたことがわかる。

### <感想>

- 積極的かつ熱意をもって参加していた。
- 自分にもできると感じられた様子が見え今後は楽しみ。
- 講師のお話しがわかりやすく好評だった。
- 女性史編さんの一点で合意のためか会場の雰囲気よかった。
- チラシに「受講後も編さんに関われる方募集」と明記したことで、受講意識が明確化され、よかった。
- 受講者の編さんに関わりたい気持ち伝わってきた。
- 西東京市との協働は互いを信頼し高めあえた。

## 報告 3 「女性史編さん講座」第2回 ——戦後の女性の歩みと西東京市の女性——

開催日時：2009（平成21）年6月20日（土）  
午後1時30分～3時30分  
開催場所：西東京市イングビル 第3・4会議室  
女性の動き：神島由紀子、斎藤三枝子（旧保谷・田無）  
講師：折井美耶子（女性史研究家）  
受講人数：21人  
配布資料：レジュメ、参考文献（当法人作成）  
司会進行：角田とよ子



### ■講座の趣旨

戦後におけるわが町の女性の動きと、その背景にある社会的・国際的な女性の歩みを重ねあわせながら、女性史編さんへの意識づくりを行った（今回は4人ずつ1テーブルとし受講者同士の交流を促した）。

### ■講座の内容（要約）

#### 第1部：戦後の旧保谷・田無市（町）の女性の動き

神島・斎藤

①保谷・田無の町の特徴を年表（当法人作成）と照らしながら解説していった。

②保谷＝教育運動（勤評・学テ反対）、消費者運動と政治参画、革新市政の後押し、国際婦人年以降の行政と市民の取り組み、女性施策推進と市民参画の動き等、実態状況の解説。

③田無＝総持寺と商店街の役割、婦人会活動、どんぐり会の影響、原水爆禁止運動と女性たち、田無町婦人学級、男性職員にも育児時間を（条例初）、女性議員比率全国一等。

#### 第2部：戦後の女性の歩みと西東京市の女性

折井

固有名詞ししか出てこない戦前に比して、戦後の女性史は、普通の女性たちが日々の暮らしをよりよくしていきたいと動いた。その背景には戦後の新しい時代の動きがあった。

##### ①戦後改革と男女同権

（1）女性の地位の変革にはさまざまな法的改正があった＝選挙法改正、新憲法、民法改正、教育基本法、労働基準法、刑法改正、公娼制度の廃止等々

（2）女性たちを主に起きた運動＝生活協同組合、労働組合組織化（婦人部結成）、婦人民主クラブ、主婦連、農村女性（農地改革）、基地反対、売春防止法、原水禁と母親運動、PTA、子どもを守る会

##### ②高度経済成長と性別役割分業

（1）高度経済成長がもたらした生活と意識の変化＝食・衣・住、家庭電化、近代（核）家族と性別役割分業、女性のライフサイクル・スタイルの変化、人権意識高まる、マスコミ、大量消費時代

（2）経済成長がもたらした矛盾＝公害列島ニッポン、住民運動（生ワクチン、保育所づくり、物価値上げ反対、子ども文庫等）、働き続ける権利（結婚規定、職場結婚等）、地方政治の革新

##### ③経済大国日本と女性差別撤廃条約（女性も人間らしく生きよう…）

（1）国際女性年と女性差別撤廃条約、家庭科男女共修、国籍法改正、男女雇用機会均等法

（2）老人・介護問題、離婚率増加、父子・母子家庭、夫婦別姓問題

##### ④グローバル化と少子高齢社会

（1）男女共同参画社会基本法・育児介護休業法施行、国際家族年、女性のエンパワーメント

（2）少子社会と高齢化社会（長寿世界一）、男女平等指数の国際比較、どこまで平等はすすんだか

### <感想>

- 講義のみならず間合いに伺える折井先生の強さ、情熱に惹かれます。■田無・保谷に直結し身近に感じられた。
- 1部・2部とも内容はそれぞれ豊かで素晴しかった。■私の来た道に間違いはなかったと元気を頂いた。
- 編さんへのエネルギーをいただける内容でした。■今の子どもたちに貴重な遺産を伝えられそうですね。
- 折井先生は時間がおしたにも関わらず、事例もいきいきと語られ、時代の流れ、女性の活動の流れがよくわかった。

## 報告 4 「女性史編さん講座」第3回

### —聞き書きの方法、資料の集め方—

開催日時：2009（平成21）年6月27日（土）  
 午後1時30分～3時30分  
 開催場所：西東京市住吉会館ルピナス 2階 研修室  
 講師：石崎昇子さん（武蔵野大学ほか講師）  
 受講人数：20人  
 配布資料：レジュメ、本事業の概要  
 司会進行：篠通恵



#### ■講座の趣旨

1・2回は女性史編さんのための基本的学習・総論だったが、第3回は聞き書きや資料の集め方を学び、実働への心得を知るとともに、編さん作業の楽しさを予感することを目的とした。

（机を口の字型に配置、互いの顔がみえる中で自己紹介を楽しみ、交流もはかった）

#### ■講座の内容（要約）……聞き書き集の編さんは、100年の後にも残る創造的な仕事である！

##### 1 聞き取り（オーラルヒストリー：語る、口承）の重要性と目的

- ①これまで聞こえなかった声を聞く（隠された事実の掘り起こしと新しい歴史像の提示）。MoreHistory
- ②文献資料にあらわれない隠れた領域、関係性を扱う（家庭生活、夫婦・親子関係など）。AntiHistory
- ③歴史を一人称で語る（自らの言葉で自己の歴史を取り戻す。話し手も聞き手も歴史の担い手）
- ④いかに語るか（話し手がどういう風に語るか、また、沈黙はなんなのか。沈黙は問わない）HowHistory

##### 2 聞くときの心構え

- ①話者との信頼関係づくり：誠実な態度で話者の話を共感をもって聞く、聞くことに集中すること
- ②歴史的知識をもっていること：ジェフリー作成の「年表」を利用。話者の時代背景など下調べ必要

##### 3 聞き取りにいく

- ①話者の選択：西東京市の場合には既に予定が数名いる。今後どうするか…編集する会で検討
- ②聞き取りの目的を最初にお話し—話者になっていただけますか？—了承を得る
  - ・『聞き書き集』をつくること
  - ・お話しは記録に残し、やがて活字になること
  - ・市民が読む・公共施設で配布すること
  - ・まとめ（原稿）を読んでいただくことを確認
- ③聞き取りの時間と場所
  - ・2人でいく（大人数は好ましくない）
  - ・名刺を提示する（編集する会）
  - ・手土産（御礼の気持ちを伝える）
  - ・場所：話者の自宅の場合（思い出す道具—記録集・写真などがある）
  - 会館などの場合—部屋の予約
- ④聞き取りの注意点（聞き手2人の場合）
  - ・1人は、聞くことに集中—顔を見ながら頷く、あまり質問せずテープに聞き手の声ない方がよい
  - ・1人は、メモ、テープをとる（目立たない場所で）
  - ・聞く内容—ライフヒストリー（人生の歴史）を年月日順に聞いていく
    - ◇生年月日、生まれた場所、育った家庭—父母のこと、育った時代、受けた教育、戦争体験、娘時代、仕事のこと、結婚、家族、何年から田無保谷に住む、子どもの生年、出産（時間があれば、具体的に）、この町に生まれ育った方には子ども時代の町の様子、活躍のお話し、現在の生活、積極的部分を
    - ◇夫の関係—今までの地域女性史では、ここは聞いてない—チャレンジ！！
  - ・聞きながら、頭の中で話しの「つじつま」をあわせていく—分からない所を質問、深追いしない
  - ・確認の質問：固有名詞、個人名、地名（漢字）などを確認（活字化する、正確さのため）
  - ・今後の連絡の確認—あと、何度も連絡することあり、確認作業あり
  - ・文献・写真などがある場合—基本的には借りない（直ぐ写真コピー、デジカメなどで対応）

聞き取り時にはいけない

→「おしゃべり」「議論」×

##### 4 テープ起こし—すべてのことの基本作業。ベタ起こし、口調も残す。個人年表つくってみる。

#### <感想>

- 講師のお話が現実的・体験的でわかりやすく、よかった。
- 自己紹介コーナーは楽しく、受講者同士が近づけた。
- 講師のお話しから活動への意欲ややる気がでてきた。
- 編集することのイメージがみえてきた
- まだ理解しきれない点があるので次回に期待する
- 参加者の顔がいきいきしてきた。役目がみえてきた。

# 報告 5 「女性史編さん講座」第4回

## ——これからの取り組み——

開催日時：2009（平成21）年7月4日（土）  
午後1時30分～3時30分  
開催場所：西東京市住吉会館ルピナス 2階 研修室  
講師：石崎昇子さん（武蔵野大学ほか講師）  
受講人数：16人  
配布資料：レジュメ  
司会進行：斎藤三枝子



### ■講座の趣旨

最終となる今回は、一冊の冊子にするまでの取り組みについて具体的な示唆を得た。本気でやる気ある人たちが参加されたため、編さんへの実践的な質問が多くなってきた。また、生活企画ジェフリーから本事業の趣旨やこれからの活動計画などを詳しく説明、「西東京市の女性史を編さんする会」が満場一致で発足した。講座終了後の交流会には講師の石崎先生も参加され、編さん事業へのパワーづくりにつながった。

### ■講座の内容（要約）

#### 1. 聞き書きは話者と聞き手の共同作品……創造的・クリエイティブな仕事です

- ①市民に読んでもらうのが目的
- ②話者のの語りを一つの作品にしあげること
- ③歴史的考え方や認識が入ってくる
- ④聞き手の仕事として残る

#### 2. どのくらいの分量にまとめるのか

- ①予算→何人の聞き書きができるのか→〇〇字にまとめよう
- ②聞き取り後は、一字一句、べた起こしする→何人分をためておく→石崎先生がサンプル作成（参考）

#### 3. 5W1Hにまとめるのがスタンダード

- ①サッと読んでうんと分かることが大事（ダラダラ書かない）
- ②私を主語に、人間関係が読者に分かるように書く（お父さんは…「夫は」、嫁、舅、夫、息子など）
- ③5W1H（誰が、いつ、どこで、なにを、どうした、どのように）で関係を明確に
- ④時系列で具体的に書く（その人の印象を最初にもってくる場合もある）

#### 4. タイトルは重要……キャッチコピーを考える

- ①タイトルを考える
- ②小見出しは具体的に
- ③文の最後に聞き取り日、まとめた人の名前（これは相談）を載せる

話者の間違いについて…  
歴史的用語など話者が間違っている場合には、石崎先生がチェックして下さるとのこと

#### 5. 話を聞いていない人が、読んでわかるように書く

- ①基本的に注はつけない
- ②読んでいる人に具体的イメージがわかるように
- ③編さんメンバーがお互いに読みあい、分からないところを指摘できあう信頼関係をつくりたい

### ■「西東京市の女性史を編さんする会」立上げ……本事業の趣旨・概要とこれからの説明

- ①満場一致で立上げ決定→第1回会議を、7月11日（土）開催する

### ■交流会開催：1時間ほど和気藹々に終始、編さんする会は緊張感の中にも楽しいものになりそう

#### <感想>

- 具体的な内容やイメージが見えてきました。
- 講座は内容濃く充実していた。やる気がでてきました。
- 皆さんの疑問が自分にも当てはまり意識がはっきりしてきました。
- 不安でいっぱい、でも参加します。
- 率直な質問や意見交換ができる雰囲気になってきた。
- よいものをつくりたいですね。

		【感想・自由記述】 1・2回について
第1回	<p>総数 (27人)</p> <p>■内容について</p> <p>とてもよかった (20人) 74.0%</p> <p>よかった (6人) 22.2%</p> <p style="text-align: right;">計 96.2%</p> <p>あまりよくなかった (1人) 3.7%</p> <p>よくなかった (0人)</p> <p>■参加してよかったか</p> <p>とてもよかった (19人) 70.4%</p> <p>よかった (7人) 25.9%</p> <p style="text-align: right;">計 96.3%</p> <p>あまりよくなかった (1人) 3.7%</p> <p>よくなかった (0人)</p>	<p>①いろいろな勉強をさせていただきました。時代の変化にあわせて私達もいろいろな課題を考えていかなければいけないと思いました。</p> <p>②今の子どもたちに貴重な遺産を伝えられそうですね。成果物に大いに期待します。</p> <p>③編さんへのエネルギーをいただける内容でした。折井先生のお話しはわかりやすく楽しく、でも、本流を捉えた素晴らしい講座でした。市民の方の発表も大変参考になりました。</p> <p>④ぜいたくな時間を過ごさせていただきました。私は男女平等の真っ只中で生まれ育ちました。自分の生活や子を守るため、今、必至に生きている感じですが、少しずつ回りをみる努力も大事なことなのではと思いました。</p> <p>⑤女性が歩いてきた歴史とともに(いい意味での)男性の女性化(父親の育児参加や弁当男子など)の歴史も見たい。また、法令等での男女平等化と現実の男女平等の違いについて。</p> <p>⑥現在の企業・官庁労働現場の実態を具体的に聞きたい希望がある。労使関係(労働協約・人事管理)とその運用状況を。講師の話は少し古い伝聞的・マスコミ情報を一般化させたものが多いように思われる(可能ならば)。</p> <p>⑦難しかったです。女性史編さんのための背景として知っておくことは思いますが、生協、文庫、PTA活動から始まり、それぞれの運動に参加されてきた方々の中で、「地域女性史編さん」の「地域」「女性史」の方に重きを置いて参加した私は、場違いの所に来てしまったのではないかと心配しています。</p> <p>⑧地域で地道に活躍なさってきた方が多く参加されているようで、頼もしく感じました。よい結果に結びつくことと思えます。</p> <p>⑨第2回は田無・保谷に直結もして、具体的で身近に感じた。講義のみならず、間合いに伺える折井先生の強さ、情熱に惹かれます。折井先生が2回で終了は残念。ありがとうございました。「生きることは行動すること」と私に言い聞かせつつ。</p> <p>⑩第2回は時間の配分が難しそうでした。内容はそれぞれ豊かだったので素晴らしい。</p> <p>⑪第2回に関して。保谷・田無の概略的市史は大変興味深かった。が、市政が革新だったのか保守だったのかなど、政治的視点ももっと年表に加えて欲しかった。全般に、国策としての女性運動促進といったマクロな動きも見据えつつ、個別の(市井の人々の)語りを拾っていきるといいのではと感じた。また、できるなら、戦前をさらにさかのぼり近世・近代を俯瞰(ふかん)できる女性史ができると素晴らしいと思う(ex: 下田家の役割 etc.)。</p> <p>⑫第2回目は地域の中で生きていて、自分の地域の歴史とからめて、意見交換などできるとよかった。その時間を30分位延長しても話しかけたかった。</p> <p>⑬第2回目は時間が短くて先生にはお気の毒、でも丁寧に話してくださいで大変参考になった。ここから自分の歩みも振り返り、やはり歩んできた道に間違いがなかったと。これからも歩き続けていきたいと大変元気をもらいました。直接、先生のお話しを伺いとてもよかったです。こうした企画をありがとうございました。</p> <p>⑭第2回の折井先生のお話しは、時間がおしたにもかかわらず、事例もいきいきと語られ、時代の流れ、女性の活動の流れがよくわかりました。次回の石崎先生の講座も楽しみです。</p> <p>⑮男性中心の歴史を学ぶのではなく、女性の暮らしの視点にたった歴史を編さんすることに意味があるなあと思います。折井先生のお話しは、とても分かりやすく、戦後のいろいろな出来事を頭の中で整理することができました。</p>
第2回	<p>総数 (17人)</p> <p>■内容について</p> <p>とてもよかった (11人) 64.7%</p> <p>よかった (6人) 35.3%</p> <p style="text-align: right;">計 100.0%</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>よくなかった (0人)</p> <p>■参加してよかったか</p> <p>とてもよかった (7人) 41.2%</p> <p>よかった (10人) 58.8%</p> <p style="text-align: right;">計 100.0%</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>よくなかった (0人)</p>	

<p style="text-align: center;"><b>第 3 回</b></p>	<p>総数（19人）</p> <p><b>■内容について</b>        とてもよかった（15人）78.9%        よかった（4人）21.0%  <b>計 99.9%</b></p> <p>あまりよくなかった（0人）        よくなかった（0人）</p> <p><b>■参加してよかったか</b>        とてもよかった（15人）78.9%        よかった（4人）21.0%  <b>計 99.9%</b></p> <p>あまりよくなかった（0人）        よくなかった（0人）</p>	<p><b>感想・自由記述</b></p> <p>①石崎先生のお話は分かりやすかったのですが、実際に聞き書きができるのか、まったく未知数です。なんとか一生懸命参加させていただきたいと思います。</p> <p>②今まで、インタビューやお話を聞いて、お聞きする内容を決めて文にまとめることはやってきましたが、life historyをまとめるのは初めてです。それなりにむずかしそうですが、時系列的に聞いていくのがよいというのを教えていただき、勉強になりました。それと、「おしゃべり」はしないということ。目からウロコです。</p> <p>③自己紹介の折、皆さん、素晴らしいメンバーで、立派な女性史ができるものと思われまます。</p> <p>④石崎先生のお話はわかりやすく、やる気がでてきました。</p> <p>⑤石崎先生のお話にやる気がわいてきました。まだ不安もありますが、やってみようと思います。生活企画ジェフリーの皆さんのこれまでの動きや情報収集のお話しももっとじっくり伺いたいと思いました。</p> <p>⑥『小金井の女性史』を初めてみせていただいて、“女性誌”のいいイメージをもてました。写真、字の大きさ、話者の人となりがいきいと伝わります。第4回の聞き取りの具体的研修会、楽しみです。</p> <p>⑦石崎先生のお話は実体験にもとづく具体的なもので、とても興味深く、楽しく拝聴しました。</p> <p>⑧石崎先生は具体的にお話くださってわかりやすかったです。自己紹介もとっても楽しかった。</p> <p>⑨一転、実践講座で微に入り細をうがったお話なので、乗り移るのに10分ほどかかった。内容はごもっともなことで、経験の再確認ができました。</p> <p>⑩第1回目の折井先生の女性史は、「何のために、何を明らかにするのか」の問いに今だ思案中です。第3回目は具体的な内容の講座でイメージが固まってきましたが、市の歴史の勉強が必要だと思い、金成の時間がかかりそうで少々不安です。</p> <p>⑪いい企画だと思いますが、他の仕事が忙しく参加できません。出来上がったものを楽しみにしています。</p>
<p style="text-align: center;"><b>第 4 回</b></p>	<p>総数（16人）</p> <p><b>■内容について</b>        とてもよかった（13人）81.2%        よかった（3人）18.8%  <b>計 100.0%</b></p> <p>あまりよくなかった（0人）        よくなかった（0人）</p> <p><b>■参加してよかったか</b>        とてもよかった（12人）75.0%        よかった（4人）25.0%  <b>計 100.0%</b></p> <p>あまりよくなかった（0人）        よくなかった（0人）</p>	<p><b>感想・自由記述</b></p> <p>①皆さんの疑問が自分にも当てはまり、少し意識がはっきりしてきた感じ。できることをやっていきたいと思います。</p> <p>②具体的な内容で、またイメージが少々見えてきました。実践で理解していく方向で考えていきます。</p> <p>③4回連続講座は内容が濃く、充実していました。女性史編さんへのやる気がでてきました。</p> <p>④不安がいっぱいですが、7月25日の聞き取りは参加したいと思っています。</p> <p>⑤率直な質問、意見交換ができる雰囲気になってきましたね。出席が16人だったのは残念。今後に支障がでなければよいのですが…。</p> <p>⑥このまちを切り拓いたひと（女性）のお話を聞くことに関心もっていますが、実際、どれだけのことができるか心配です。</p> <p>⑦今日で講座も終わり、いよいよ編さんにとりかかるのですね。不安がないといったらウソですが、でも乗りかかった船です。やりましょう。よいものをつくりたいですね。</p> <p>⑧第1回編さんする会で、できるだけ時間をかけて、各メンバーの心配事や希望など意見を吐き出すようにしたい。</p>

